

11月15日 No.275

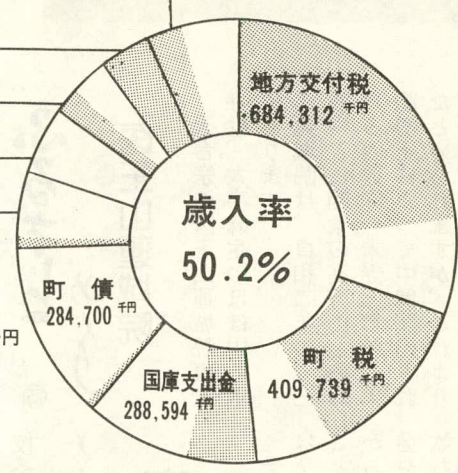
〈人口〉

男	8,950人
女	9,144人
計	18,094人
世帯数	4,109戸

町のさいふ（財政事情書）を公表

〔1〕一般会計

その他 154,210千円
繰越金 82,413
諸収入 104,914
繰入金 117,000
県支出金 122,213



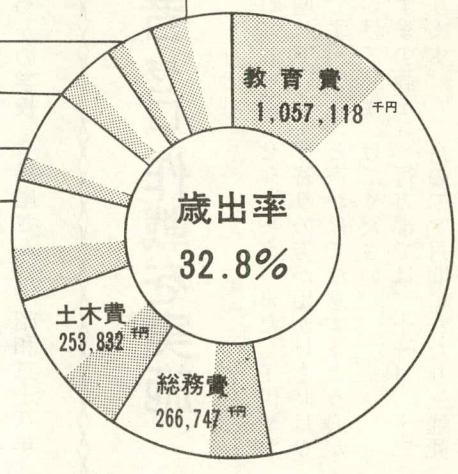
〔はいつたおかね〕

予算額 2,248,095千円
収入額 1,127,563

〔つかったおかね〕

予算額 2,248,095千円
支出額 736,515

その他 135,170千円
公債費 78,284
消防費 99,568
農林水産業費 152,674
民生費 59,011



〔3〕町の財産

1. 土地及び建物

名称	土地	建物
庁舎	4,608㎡	1,933㎡
学校	191,787	23,390
営住宅	16,682	3,410
その他の施設	49,465	6,043
山林	89,214	
畑	9,656	
その他の土地	13,092	
白帆	3,869	2,017
合計	378,373	36,793

2. 物品

乗用車	1台	小型ローラー	1台
広報車	4	小型トラクター	1
給食配送車	3	小型トラクター	2
大型ダンプ	2	軽自動車	2
小型ダンプ	3	スプレーヤー	1
タイヤショベル	1	ミキサー	1
ブルドーザー	1	消防自動車	3
グレーダー	1	ユービックス	1
8tローラー	1		

3. 出資による権利

県農業信用協会出資金	890千円
県信用保証協会出資金	2,231
県漁業信用基金協会出資金	600
県文化福祉事業団出資金	143
国保診療報酬支払基金預託金	637
県家畜産物衛生指導協会出資金	110

4. 基金

土地開発基金	73,086千円
国保診療報酬支払準備基金	18,255
国民年金印紙購入基金	6,000
財政調整基金	191,357

〔4〕住民の税負担

税目	調定額	一世帯当り	
		調定額	収入済額
町民税	167,303千円	40,696円	23,579円
固定資産税	168,040	40,876	29,982
軽自動車税	7,287	1,773	1,711
たばこ消費税	29,415	7,155	7,155
電気税	10,195	2,480	2,480
特別土地保有税	26,619	6,475	5,993
合計	408,859	99,455	70,900
国民健康保険税	216,388	69,622	28,507

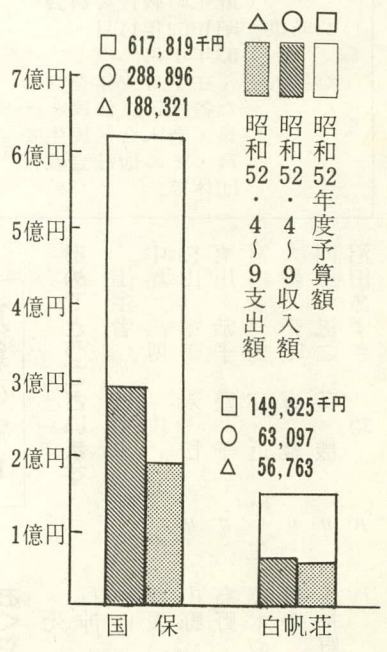
昭和五十二年（四月一日〜九月三十日）の麻生町財政事情についてお知らせします。

一般会計については、当初予算編成後の情勢の変化により、一億二千万円の追加補正を行い、次に示すような数字になっております。

本年度のおもな事業として

昭和五十二年四月一日から九月三十日までの一般会計予算に対する執行率（数字は予算額）

〔2〕特別会計



5. 有価証券

電話債券	820千円
勸業銀行証券	131

6. 町債

種類	未償還額
教育施設事業債	365,719千円
公営住宅事業債	14,725
庁舎建設事業債	5,605
地方税減収補てん債	16,500
財政対策債	37,400
公民館用地取得事業債	171,340
水田取得事業債	9,360
道路整備事業債	41,000
白帆荘建設事業債	32,142
合計	693,791

秋の火災予防運動

11月26日〜12月2日

使う火を消すまで離すな目と心

火災の多発期を迎えるにあたり、一人ひとりの防火意識の向上を図るとともに、火災の発生防止と人命損傷事故の絶滅を期することの趣旨で

- 命損傷事故の絶滅に心がけよう。
- 実施事項
- ①家庭
(1) 幼児、老人だけを残して外出することは極力さけよう。
(2) 幼児、老人の安全な避難方法を考えよう。
(3) 就寝前の火の元点検を必ず行おう。
(4) 寝たばこは絶対にやめよう。また、させないよう常に注意しよう。
(5) 自分が使う火は消すまで責任をもち、その都度安全を確認しよう。
(6) 一日一回は防火について反省しよう。
 - ②職場
(1) 職場ぐるみで、消火、通報及び避難訓練を実施しよう。
(2) 消防用設備等を総点検し、いつでも使えるようにしておこう。
(3) 非常口付近や通路には、物を置かないようにしよう。
(4) 職場教育を徹底し、職場の防火意識を高めよう。

〔善〕
〔意〕

矢幡の関忠義さんは、太田小学校へ運動会用の優勝トロフィーを贈りました。

宇崎の高野睦治さんは、宇崎子供会へ三千円を贈りました。

小高の根本守さんは、麻生町公民館へほうき、チリ取り各六個を贈りました。

聖書教育奉仕団は、麻生町

第29回人権週間

人権の共存―明るく近隣関係を築こう―

12月4日〜10日

身障者・交通遺児・災害救助関係へ各三千円。

於下の川尻貞夫さんは、於下老人クラブへ一万円。

於下の山根道邦さんは、於下老人クラブへ五千元。

於下の長峰竹治さんは、於下老人クラブへ五千元。

於下の浜田麒一さんは、於下老人クラブへ一万円。

サラリーマンの奥さま

国民年金に加入すればお得です

国民年金は、老後や思いがけない災難にあつたときに生活を守るもので、おもに自営業の人たちや農業を営んでいる人たちが加入しています。しかし、サラリーマンの奥さん方でも希望すれば、国民年金に加入することができ、希望して加入されますと、将来ご夫婦そろって年金が受けられますし、思いがけない災難で、からだの不自由になったときには障害年金を、不幸にしてご主人がなくなられたときには母子年金を、それぞれ受けることができます。サラリーマンの奥さん方はご主人の年金からある程度の老後の保障はありますが、国民年金に加入されますと、生活の安定が保障されるだけで

しかし年金額は、実際に保険料を納めた期間をもとに計算しますので、若いうちから加入して保険料を納めれば、高い年金が受けられます。サラリーマンの奥さん方の国民年金への加入は毎年増加しており、県内には約九万八千人おります。

老後の生活に備えて、今すぐ印かんを持って役場の国民年金の窓口へおいでくださいとなりますから大変有利です。

土地の立入調査にご協力ください

行方縦貫道路改良工事計画のため、次の地域に立入り、土地測量等の調査をしますのをご協力くださるようお願いいたします。

◎調査地域
大字麻生字一丁窪、嘉祥、

新原、上十三岡

大字青沼字欄台、南原、十三

大字石神字栗山、栗山台、鰐沢、鰐沢台、水喰、俵久保

水喰台、原、浄瑠璃場、原境

杏ノ入、杏ノ入丸峰

◎調査期間
昭和五十二年十月六日より

昭和五十二年十月三十一日

ふるさと

医王山蓮城院

天台宗の医王山蓮城院東光寺は、大字麻生のほぼ中心地にあります。

蓮城院は、貞和二年(一三四六)に開東の高野山といわれる西蓮寺の末寺として、東範僧正によって中興開山されたといわれますが、これより以前、年代は明かではありませんが、良忍上人により創刻された旨の記録が伝えられています。

大麻神社の近傍に東光寺と称する小字がありますが、口碑によれば、ここにも蓮城院東光寺があり、その後、何箇所か移転して現在地におちついたといわれています。なお、伽藍は明治十三年に焼失してしまい、同年本堂、庫裡、鐘樓を新築、さらに虚空蔵堂も修築されたことが明らかとなっています。

秋の叙勲

この道一筋の二人に輝く

「文化の日」秋の叙勲が発表され、二人の功労者が受章されました。

勲五等双光旭日章



荒張 坦さん(71) 行方 998

荒張さんは、大正十四年三月玉川小学校をふり出しに公立学校教員としての生活を始められ、十三年には手賀小学校校長、この間いくつもの学校

勲六等瑞宝章



瀬尾正満さん(75) 麻生 1,154

瀬尾さんは、昭和三十八年

交通死者ゼロ作戦を実施

十月に入って当町において交通死者が激増していることは非常に残念です。これから年末・年始にかけて忘年会や新年会等ですます酒を飲む機会が多くなります。お母さん方は車のカギを保管して酒の出る場所にでかけるときは絶対に車を運転させないよう、また、子供やお年寄りの方が出かける時はひと声かけて注意するよう心がけてください。

行方郡では、十一月、十二月の二ヶ月間にわたり交通死者ゼロ作戦を実施しています。町民の皆さんひとり一人が交通事故の恐ろしさを充分認識

「みんなで行く社会教育の集い」 住みよい郷土づくりを展開

ふるさとの美しい自然を維持し、すぐれた文化を発展させ、住民全員が参加して「みんなで行く社会教育の集い」を展開し、地域ぐるみの教育環境づくりを实践し、新しいコミュニティづくりに役立てようとするものです。

みなさんの積極的なご参加をお待ちしています。

- ◎主催 麻生町 麻生町教育委員会
- ◎時期 昭和52年11月～53年1月
- ◎参加者 在学青少年を含めた各地区全住民・区長・老人会・民生委員・その他社会教育団体等

俳句

野鼠の食いかけもある栗拾ふ
さんざめく木魂は子等の栗拾ひ
松の葉のつゆ光りたる寝待月
栗飯の栗むく指を痛めけり
臥待の月の明るく風呂上る
安らかに眠る子の掌に栗一顆

短歌

根つめて紫蘇の実を抜く軒下に
冷え冷えとして黄昏せまる
豊年踊り果てし櫓につるされて
裸電灯一つ点れり
娘は嫁ぎ活ける主なき紫陽花の
色うつりつつ夏は終りぬ
かかる農いつまでつづく老夫と
峽田に稲を日暮まで刈る
紫蘇の実をこきて茶に染む指先に
煙草好きなりし父思ひ出ず
房長く白藤の花咲き開けて
まばゆき昼を人影もなし
青暗き湖面を映す残光に
たたずむ頭上寒き風過ぐ

あなたの声を

お寄せください

町政についての意見、身近にあるいろいろな話題。部落の催しや民俗行事など、あなたの身近なこと、なんでもけっこうです。広報係(電話②〇八一)へご連絡ください。あなたの声をお待ちしています。

戸籍の窓口

おめでとございます

出生者	世帯主	住所
中島 昌博	攻 富	田 所
杉山 博美	未 松	田 所
実川 恭子	豊 子	田 所
宮内 一樹	克 近	麻 生
大輪 光昭	貞 蔵	功
沼田 滋之	英 機	功
沼田 あずさ	功	功

死亡者	世帯主	住所
石神 久保	一 矢	幡 所
山口 東 翠	蔵 川	浜
荒張 ナツ	武 雄	白 濱
山野 栄次	70 武 雄	崎 浜
高野 かね	77 睦 治	崎 浜
茂木 めぐみ	2 宗 五郎	崎 浜
藤崎 さく	78 鶴 次	崎 浜
小神野村衛	63 幸 一	崎 浜
内野 道雄	44 た ま	崎 浜